



春日井ロータリークラブ 2013~2014 年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

ロータリアンとして世界・地域に奉仕しよう

市民がウォーキングや散歩の折りに、それぞれの故郷を思い出し、自然や緑を大切にする心の糧となるよう、全国ロータリークラブの協力により、各地の県木・市木60余本を植樹しました。
(春日井ロータリークラブ創立25周年記念事業 1994年4月)

会 長：屋嘉比良夫
副 会 長：大橋 完一
副 会 長：太田 弘道
幹 事：加藤久仁明
会報委員長：近藤 太門

例 会 日：金曜日 12:30~13:30
例 会 場：ホテルプラザ勝川
事 務 局：春日井市鳥居松5-45
T E L：(0568)81-8498
F A X：(0568)82-0265
E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp



(仮称)総合保健センター
※イメージ図



落合公園体育館

ロータリーの森の桜

本日のプログラム

- | | |
|--------------|----------|
| ・点 鐘 | 伊藤 純君 |
| ・国 歌 | 屋嘉比良夫君 |
| ・ROTARY SONG | 「君が代」 |
| ・ビジター紹介 | 「四つのテスト」 |
| ・食事・歓談 | 屋嘉比良夫君 |
| ・委員会報告 | |
| ・会長挨拶 | 屋嘉比良夫君 |
| ・卓 話 | 長谷川英輝君 |
| ・幹事報告 | 加藤久仁明君 |
| ・点 鐘 | 屋嘉比良夫君 |

先週の記録

会長挨拶

今年度2回目の会長代理挨拶です、今回は私のプライベートの話をお聞きください、皆様も旅行であちらこちらと(仕事、観光)行かれていますと思います、今日は私が旅行で経験したことを少しお聞きください。

いい思い出ではスウェーデンに氷のホテルに泊まりオーロラを観に行くツアーがあり、東京からデンマークのコペンハーゲンに行く時エコノミークラスでしたがなぜか友人と二人ビジネスクラスに変更になりラッキーと(氷だけで建てられたホテルでロビーもラウンジもグラスも氷、部屋も氷製のベットに毛皮が敷いてあるだけでとても寒くて大変でしたがオーロラは鮮明に頭の上で華麗なショーを見せてくれました)北欧の旅を堪能しました。次は以前にもお話をしましたがあの9,11 ニューヨーク同時テロの時にデトロイト行きの飛行機に乗り合わせてしまったことで、飛行機がアメリカの五大湖の近くを飛行中、機内アナンスがあり、

2013年11月1日(金)第2160回(11月第1例会)

そのままカナダのウイニペック国際空港に強行着陸、そこで訳もわからず5~6時間機内で待機やっと飛行機からおりて自分の荷物を探して荷物検査(カナダ軍)受けここでも数時間待たされてバスでホテルに案内されました。部屋に着きテレビを観るとあのビルに突っ込んでいく飛行機の画面が繰り返し繰り返し流れていました、そのままホテルに三日間缶詰にされました、幸いJTBのツアーでしたのでカナダで滞在中はJTBの現地係員が情報を連絡してくれましたので助かりました。その後航空管制が解除になりデトロイト経由で無事帰国できました。

これに懲りて暫くは海外旅行は控えていましたが、先月(9月19日より)三浦雄一郎さんの80歳でエベレストに登頂された記事に刺激されてネパールにエベレストと、ヒマラヤ山脈をこの目で観たくなり中国広州経由でカトマンズまで行きました。8,000メートル級の山々が綺麗に見えて堪能し、そして帰国することになりました、が香港に41年ぶりに台風が上陸中国広州も台風の影響で日本向けの航空便はすべて欠航となり、またまた広州で足止め3日間空港とホテルに缶詰にされて、最終関西空港経由で無事帰国できました。いろいろトラブルに遭いましたが、事故にも遭わず今こうして話しができることに感謝しています。

幹事報告

幹事 加藤久仁明君

- ① 2013年10月25日にニュートン林檎の木が小石川植物園から春日井緑花植物園に送られて来ました。
- ② フィリピンセブ島が水害の被害に遭い水洗トイレを寄贈した小学校も被害を受けました。10万

ロータリー財団月間

例	11月2日(土)	11月15日(金)	11月23日(土)	11月29日(金)
会	11月8日変更	祝福	11月22日変更	卓話
予	福祉のつどい	卓話 朽本 正樹君	ニュートン林檎の木植樹式	地区 職業研修チーム委員長
定	サボテン鉢植 10時	卓話 和田 了司君	春日井植物園 10時	福田 哲三君

ホームページ：<http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

円の義捐金を贈る為、次週のニコボックスのお金を一部に充当しますと共に例会中義捐金の籠を回しますのでご支援ご協力ください。

③ 11月21日春日井RCゴルフ大会にの奥様の参加をお願いします。

④ RI 定款変更の件：3年に一度見直されるRIの定款変更が決まりました。詳しくは、RIのホームページを参照して下さい。

◎例会変更のお知らせ

豊田 RC	11月13日(水) 11月9日(土) 8:00 少年野球大会の為 運動公園
瀬戸北 RC	11月12日(火) 11月16日(土) スピーチコンテストの為瀬戸蔵
愛知長久手 RC	11月5日(火) 11月5日(火) 18:30 例会会場休館の為 華野
愛知長久手 RC	11月12日(火) 11月10日(日) 市民祭の為 市役所
岡崎南 RC	11月12日(火) 11月12日(水) 19:00 創立記念例会の為ニューグランドホテル
尾張旭 RC	11月15日(金) 11月15日(金) 12:30 職場例会の為 陶磁美術館
岩倉 RC	11月12日(火) 11月16日(土) 蕎麦例会の為 十五や
名古屋和合 RC	11月13日(水) 11月13日(水) 夜間例会の為 八勝館

◎例会休会のお知らせ

○一宮中央RC 11月13日(水)は休会

出席報告 委員長 伊藤 一裕君

会員 54名	欠席 16名	出席率 87%
先々週の修正出席	欠席 1名	出席率 98.1%

ニコボックス報告 委員長 成瀬 浩康君

- 大橋副会長、会長挨拶お願いいたします。
屋嘉比良夫君
- 長らく体調を崩して欠席しました。
山口 由起君
- 短い話をさせていただきます。
山田 治君
- 卓話させていただきます。
場々大刀雄君
- 今日の卓話を楽しみにしています。
近藤 太門君
- 山田さん馬場さんありがとうございます。
峠 テル子君
- 来る11/7～13セントラルパーク地下セントラルギャラリーにて日本山岳写真協会東海支部

展を開催します。北 健司君
○10月も大過なく過ごせた喜びで。青山 博徳君
○卓話を聞く喜びで。

足立 治夫君 磯野 俊雄君 大橋 完一君
太田 弘道君 大畑 一久君 岡嶋 良樹君
亀谷 鉦一君 加藤久仁明君 加藤 茂君
風岡 保広君 加藤 宗生君 貴田 永克君
小島 啓治君 志水ひろみ君 清水 勲君
社本 太郎君 杉山 孝明君 朽本 正樹君
中島 宗幸君 中川 健君 長谷川英輝君
林 憲正君 蓮野 美廣君 古屋 義夫君
森田 誠君 山田 倫章君

○ご協力ありがとうございました。成瀬 浩康君
卓話 山田 治君

8月の盆休みに、家内とフィンランドに行ってきました。フィンランドに決めたのは名古屋から直行便があつて一番近くのヨーロッパという単純な理由だからです。昨年来の体調不良もようやく回復のめどがつき快気祝いも兼ねての旅行でした。

私はもともと海外旅行に殆ど行ったことがなく今回のフィンランド行きも10数年前の中国・上海以来でしたので行く前から大変楽しみで旅行前日は眠れないほどでした。日程も楽に組み、首都のヘルシンキのホテル1か所に連泊し、後は何も予定なし、朝起きてから「さあ、何をしようか？」という行程でした。

初めてのヨーロッパは見るもの聞くもの全て新鮮でした。特に特急列車の車窓から眺める異国の景観は美しいものでした。この国は意外にも魚料理が多く塩漬けの生魚などがよく出てきました。半農半漁の北海道の田舎で育った私には生臭いイワシやニシンの料理も非常に美味しく頂けました。

この国に1週間滞在し素直に感心したのは、とても親切な国民であるということでした。困っていると必ず助けが入ります。これから話すことも多少、関係があるかもしれません。

私はよく京都の寺巡りに家内と出かけますが外国人をたくさんみかけます。しかし、何かを探している外国人がいても見て見ぬふりが多いのですが、これからは「May I help you?」の一つでも声掛けしなければと思いました。言葉が通じなくとも何とかなるものです。

さて、私が今回の卓話で申し上げたかったのは“高福祉高負担”という福祉の原則の話であります。フィンランドは対岸のスウェーデンと同様、いわゆる福祉国家として全て国家が面倒を見てくれる福祉先進国であります。このことは皆様方もご承知の通りです。一方、国民負担率は実に75%、国民は正に国の奴隷状態であると言っても過言ではありません。

別な見方をする人たちは公平な社会と言います。しかし私には「取れるところ徹底的に取る」とい

う考えはむしろ不平等な制度としか考えられませんが、体と知恵を使い、額に汗して得た高額な報償がそうでない人と同じ手取りで、ただその代わり「あなたの将来の面倒をそれなりにみてやる」と言われたところでどうも私には納得がいきません。

ほしいものがあるからそれを手に入れるために頑張る、対価を得るとというのが普通だと思うのですが・・・。

ただ“高福祉高負担”とどのように関係するか定かではありませんが、北欧諸国では平均的に国民の教育水準が高く(統計上の数値もある)、更に、豊かな心を持っていることも事実のようです。先ほど申し上げた親切さも心の余裕を持ち合せているからかもしれません。

色々と苦言を申し上げたものの、私自身を振り返れば、過去には恩恵に預かり感謝をしたことも多々ありました。

20 数年前、父が入院していたころ、70 歳以上ということで医療費は殆どただ?と記憶していますし、当時、インターフェロンという保険の効かない抗がん剤がありまして、私の記憶では 1 本 15000 円の記憶ですが、この注射を数カ月に亘り毎日打ちました。そしてその費用は全て国か市か分りませんが補填してくれました。

また、公共施設の最前列の駐車場をはじめとした過剰な位なバリアフリーにも助けられました。極めつけは、さる公の展望台で借りた車いすは高さが上下する立派なもので柵の高さに合わせて景色が見られました。帰りに返却するのが残念なくらいでした。

そんな訳で余り文句は言えません。それに、ここが一番大事なことですが、いつ私自身がこういうサービスにお世話になるか判りません。ですからこれ以上申し上げるのはやめますが、ただ、はっきりしていることは、先々、日本は少子化が進み、結果として“高福祉”は必然的に維持できないという厳しい事実です。

先々の日本に負担してくれる若い人がいない以上、こんな言葉があるかどうかわかりませんが、“中福祉中負担”くらいでいいのかもしれない。

<了>

卓話

場々大刀雄君

本日は私が最近思っていることを3点、ロータリーの森について、奉仕の理想とは、高層建築の災害時の避難、についてお話しします。

ロータリーの森ですが、平成6年に当クラブの創立25周年記念事業として、八田川沿いのふれあい緑道に全国のロータリークラブから、県木、市木を寄付していただき、植樹造成しました。平成8年10月には、大きな自然石にロータリーマークを刻み記念碑とし、「ロータリーの森」委員会も発足し、森の維持保全のため、浄財をニコボック

スから少しずつですが廻していただき、ある程度の金額も確保でき動いてきたのですが、ある時期、そのお金は親睦のために使われてしまい、皆無になってしまいました。現在は環境保全委員会の予算のみになっております。しかしこの約8000㎡の緑の木陰は、多くの市民の憩いの場でもあり、また散歩やジョギングのための道として楽しまれております。この事は、我がクラブが他クラブにはみられないただ一つの誇りでもあります。今後とも我がクラブは、この森の成長を環境保全委員会のみならず、会員全員で見守ってやっていただきたいと思っております。

次にロータリーの奉仕の理想とは、何を意味しているのか、私には漠然として理解できませんでしたが、佐藤千尋さんが「ロータリーの友」にその事について書かれていました。それは、次のようなことでした。

企業というものは利益を出して税を納める、それが株式会社であると。しかし現実には、いくら働いてもなかなか利益がでないのが現状である。むしろ、理想的な奉仕活動をする正直者が馬鹿を見る時代である。そんななかで、ロータリーでは奉仕の理想に集いし友よ!と謳っております。理想というからには、はるかに次元の高い思いを意味しているわけです。ロータリーの道德律の第二に「最も奉仕するもの、最も多く報われる」という一節があります。しかし、現実とは違っています。そこでこの一節のように、良く奉仕すればよく報われる、そんな世の中に少しでも近づけようと努力すること、これが奉仕の理想なのではないかと言っています。私は今、自分自身でこの意味を腹に据えております。

最後に高層建築と避難ですが、最近では地震災害についてよく話題があがっています。特に事務所ビル、マンション等が高層化されておりますが、これもコンピューターにより構造技術が進んで構造計算上は可能になったからです。その外に免震と言って、地盤と建物に免震材のゴムとかバネをいれて自身の左右上下の揺れを建物に伝えないようにするのは、最近の高層ビルにはほとんど使われています。これとて、材料には寿命がありません。永久に持ちこたえてくれるものではありません。そのため、寿命がきたときは取り替えなければならなくなり、その作業をするために基礎を露出させて、建物の周りに作業スペース又は、横揺れに対して余裕をとっておかなければなりません。要するにゴムなりバネなりによって建物を浮かしているわけですから、大変な力がかかります。費用も大変です。各種特許をもって競争しています。

この高層の建物の地震時の横揺れは最上層では1m近くにもなるはずですが、この時震度は6強で設計しますが、エレベーターは震度4くらいで止

まってしまう。揺れについていけないからです。これほど災害時に始末の悪い設備機器はありません。いざという時には使いものにはならないですから。基準法で考えられている震度は6強で建物はこわれても人命には影響させないという主旨ですが、これ以上の地震がこないという理屈は自然界にはありません。ならば助かる方法はあると、避難するのが最良ですが、そのときは階段しかありません。常時部屋にいる方は、幼い子供のお母さんか、よぼよぼのお年寄りくらいです。働き盛りの方々はオフィスにいて、家にはいません。いざ逃げようとするマンションの階段は狭い。そこへ皆さんが集中するわけですから、避難は不可能に近いはず。しかしいつ来るかわからない大地震時に助かるようならば、逃げるのも人命安全のための一つの方法です。

プログラムの計画段階にあります。一つは子供の発展プログラムで、ホンジュラスのテグシガルバの市場の子供たち (Market Children) に私たちがすでに行っている教育プログラムに追加するものです。この教育プログラムは 20 年にわたり実施されてきており、大変大きな成果を上げています。もう一つの計画は、ウガンダのカンパラにあるグッドシェパード孤児院をより強固に存続することです。この計画では、最近子供たちが贈与された土地の一部に彼らが食物を育てることができるよう、トラクターを購入する予定です。国内においては、丁度、地域の青少年センターの改装を終えたところです。そして途上国や被災地へ靴を送るプログラム (ソールズ・フォー・ソウルズ・カナダ：カナダ版心の靴運動) のサポートを続け、コロナにおいて多くのイベントにおいて輝かしいボランティア活動を行っています。

ケローナ RC 親書

ケローナサンライズロータリーでは、今年5月に目指すべき姿への行程表を完成し、現在3ヵ年戦略を展開しているところです。これはとても刺激的で、すべてのメンバーにクラブの方向性を形づくる機会を与えるというものです。所属する地区で我々の指導者プログラムが評価され、われらのスティーブ・ゴッダード君が、職業奉仕プログラムの進展で奉仕賞を受賞しました。

最後になりましたが、私たちクラブは、努力と希望のもとあらゆる成功があなた方クラブにあらんことを願っております。我々クラブ間、2都市間の友情の印として”誰もが憧れる”のロータリーのペンをご笑納ください。私たちクラブ同士のご縁は、年を重ねてなお強くなるだけであることを、大変期待しております。

ケローナ・サンライズ・RC 会長 バーブ ペナ
ー



副会長挨拶 大橋 完一君



卓話 山田 治君



卓話 場々 大刀雄君